

令和 2 事業年度決算報告書

事業報告・財務諸表

公益財団法人 市原市文化振興財団

令和2事業年度 公益財団法人市原市文化振興財団事業報告 概要

当財団は、市原市の芸術文化、生涯学習及びコミュニティを振興するため、財団の持つ専門性や総合力を活かしながら、中長期経営方針「文化の香り高いまちづくりを目指して」の4本の柱である「文化芸術振興の拠点づくり」「鑑賞型事業の更なる充実」「市内全域を対象としたアウトリーチ型事業の充実」「文化芸術の主演となる人材並びに文化芸術スタッフの育成・支援」を基本方針として各種事業を展開しました。

令和2事業年度については、新型コロナウイルスの感染拡大の中で、実施可能な文化事業を推進するとともに、感染防止対策を含めた施設の管理運営等に全力で努めました。

【公益目的事業】

文化事業については、自主文化事業と受託文化事業で合わせて44事業を計画しましたが、緊急事態宣言の発令や施設の利用制限、イベント等の開催制限を受けて多くの事業を延期又は中止としました。

このような状況の中でも持続可能な芸術文化の振興を目指し、観客の人数制限等や感染拡大防止対策を講じた上で可能な限り事業を実施したほか、動画共有サイトを利用した動画配信を活用するなど、工夫を凝らしながら事業を実施しました。

施設管理事業についても、適切な施設管理を実施しましたが、緊急事態宣言の発令等により施設の利用停止や利用人数制限等があり、施設稼働率は大きく低下しました。

指定管理においては、令和3年度から令和7年度までの市原市市民会館（以下「市民会館」という。）の第4期指定管理者として新たに指定を受けました。

【収益事業等】

宴会室での飲食提供事業については、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市内の飲食事業者に配慮し、今年度は休止としました。また、利用者のために行っている舞台看板、ピアノ調律などの利便性向上事業、各種公演のチケット受託販売などは実施したものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により催物の中止や延期が相次ぎ、施設の稼働率が大きく低下したため、収益は減少しました。

I 公益目的事業

1 文化事業

(1) 自主文化事業

財団の自主事業として実施した文化事業で、市内の学校に出向いてのアウトリーチ型生涯学習事業や市内全域を視野に入れた公演、文化芸術に携わる人々を育成・支援する文化振興ボランティア事業やアーティストの登録・育成事業などのさまざまな自主文化事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの事業が中止又は延期となりました。

公演が困難となった事業の一部については、多くの市民に芸術鑑賞の機会を提供できるよう、市民会館ホームページ及び動画共有サイトで動画配信を実施しました。

①自主文化事業（動画再生回数は令和3年3月31日時点、出前寄席は動画公開期間内のもの）

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数 視聴回数	事業概要
1	いちはら Artists Power	令和3年3月31日現在 登録アーティスト数60組		財団主催の事業や市民団体等が主催するイベントに出演していただける文化芸術アーティストを募集・登録し、アーティストに活躍の場を提供するほか、文化芸術の力で市原市をもっと元気にすることを目的とする育成型事業。
2	いちはら 文化振興ボランティア	令和3年3月31日現在 登録ボランティア数27名		財団が主催する事業において、運営をサポートしていただくボランティアを募集・登録することで、文化振興に参加する人材を育成する育成型事業。
3	文化情報紙 「おんぷ」	年4回発行		財団の文化事業の情報や市民会館のイベント情報等を掲載する文化情報紙を発行する広報事業。
4	松竹大歌舞伎	令和2年 5月24日 大ホール	中止	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を記念し、市民に伝統芸能である歌舞伎に触れる機会を提供することで、オリンピックに向けた機運醸成を図る鑑賞型事業。
5	「まちくる！」 動画配信バージョン ～#おうちでまちくる			「いちはら Artists Power」登録アーティスト等を活用し、アーティスト育成及び市原市の芸術文化活動振興を目的とした育成・鑑賞型事業。新型コロナウイルス感染防止対策を

	<p>vol. 25 和太鼓と三味線の調べ</p> <p>vol. 26 STEED ROCK CONCERT</p> <p>vol. 27 ウクレレ&ベースの ミニコンサート</p> <p>vol. 28 大正琴の ミニコンサート</p> <p>vol. 29 歌のサマーコンサート</p> <p>vol. 30 情熱のフラメンコ</p>	<p>5月30日公開</p> <p>6月18日公開</p> <p>7月9日公開</p> <p>7月31日公開</p> <p>8月7日公開</p> <p>8月21日公開</p>	<p>713回</p> <p>531回</p> <p>334回</p> <p>984回</p> <p>545回</p> <p>449回</p>	<p>講じた上でアーティストのパフォーマンスを無観客で撮影し、市原市市民会館ホームページ及び動画共有サイトにて動画配信を行った。</p> <p>入江一之介氏（和太鼓）、川上浩市氏（三味線）によるミニコンサート。</p> <p>ジャパニーズロックバンド『STEED』によるミニコンサート。</p> <p>ウクレレとベースユニット『KANTAN』によるミニコンサート。</p> <p>永野典子氏（大正琴）、平川幸一氏（ドラム）によるミニコンサート。</p> <p>高熊里奈氏（声楽）、田中美里氏（ピアノ）によるミニコンサート。</p> <p>房総フラメンコプロジェクト『ちばもす』によるフラメンココンサート。</p>
6	<p>伝統芸能普及事業 「かぶき」ってなんだろう！？</p>	<p>6月 市内小学校</p>	<p>中止</p>	<p>市内各小学校に出向き日本の伝統芸能を普及し、体験を交えて身近なものに感じられることを目的とした生涯学習事業。</p>
7	<p>出前講座 サイエンスショー</p>	<p>6月 市内小学校</p>	<p>中止</p>	<p>市内各小学校に出向き、市原市の将来を担う子供達に科学のおもしろさを伝えるとともに不思議な体験から、児童達の自己啓発を促し、生涯学習の一助となることを目的とした生涯学習事業。</p>
8	<p>野村萬斎 狂言の世界</p>	<p>6月26日 大ホール</p>	<p>延期</p>	<p>日本の伝統芸能である狂言の公演を実施することで、市民に伝統芸能に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。 ※令和元年度の延期公演</p>
9	<p>砂の器 シネマコンサート</p>	<p>8月1日 大ホール</p>	<p>延期</p>	<p>松本清張原作の映画「砂の器」の映像と東京フィルハーモニー交響楽団の生演奏とのコラボレーション公演を実施することで、市民</p>

				に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。 ※令和元年度の延期公演
10	相川七瀬コンサート	9月5日 大ホール	中止	人気アーティストの公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。 ※令和元年度の延期公演
11	さだまさしコンサート	11月2日 大ホール	中止	人気アーティストの公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。 ※令和2年4月16日の延期公演
12	出前寄席 「鈴々舎馬るこ独演会」	12月20日 市原青少年会館 令和3年 2月1日～28日限定公開 ・1席目 457回 ・2席目 373回	32名	市民により身近な場所で伝統文化に触れる機会を提供する目的で開催する出張・鑑賞型事業。 2回目公演については、緊急事態宣言発令のため公演を中止した。公演会場の夢ホールにて独演会を撮影し、動画配信を行った。
13	平原綾香コンサート	1月24日 大ホール	延期	人気アーティストの公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。 ※令和元年度の延期公演
14	原晋講演会	2月6日 大ホール	中止	芸術文化・コミュニティの振興を図るため、著名人による講演会を実施し、市民に鑑賞機会を提供する鑑賞型事業。
15	ポピュラーコンサート		中止	人気アーティストの公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。

②共催公演事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	仮面ライダー スーパーライブ	令和2年 4月4日 大ホール	中止	人気ヒーローの公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】 ベイエフエム
2	氷川きよしコンサート	7月4日 大ホール	延期	人気演歌歌手の公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】 ベルワールドミュージック
3	明治大学 マンドリン倶楽部 チャリティ演奏会	7月5日 大ホール	中止	マンドリン楽団の公演を共催することで、市原市に音楽文化を広めることを目的とした鑑賞型事業。 【主催】 明治大学校友会市原地域支部
4	春風亭小朝と 清水ミチコの大演芸会	8月15日 大ホール	中止	落語とピアノバラエティの公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 ※令和2年4月19日の延期公演 【主催】 地域新聞社
5	稲川淳二の怪談ナイト	8月23日 大ホール	510名	豪華なセットと怪談話による公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】 KMミュージック
6	市原フィルハーモニー 管弦楽団定期演奏会	9月20日 大ホール	中止	市内のアマチュア管弦楽団の公演を共催することで、市民の音楽文化を広めることを目的とした鑑賞型事業。 【主催】 市原フィルハーモニー管弦楽団
7	市原市楽友協会 市民コンサート	12月6日 大ホール	中止	市内の音楽愛好家団体の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めることを目的とした鑑賞型事業。 【主催】 市原市楽友協会

8	出光興産 みらいを奏でる音楽会	12月12日 大ホール	中止	プロのアーティストの公演を市内企業と共催公演することにより、市民の音楽文化の発展とコミュニティ振興を目的とした鑑賞型事業。 【主催】出光興産
9	NHK交響楽団演奏会 市原公演	令和3年 3月16日 大ホール	中止	NHK交響楽団の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めることを目的とした鑑賞型事業。 【主催】NHK千葉放送局 NHK交響楽団

③支援事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	市原ハワイアン フェスティバル	令和2年 5月3日 上総更級公園	中止	市原ハワイアンフラ協会等の文化団体が行う文化イベントで、音響等の技術支援を行う事業。

④受託公演事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	更級日記千年紀 シンポジウム	令和3年 3月13日 14日 大ホール	延期	更級日記の作者菅原孝標女が上総国から平安京へ帰ってから千年となる節目の年であり、更級日記千年紀事業の一環として、市原市から受託して行うシンポジウム。 ※令和2年9月13日の延期公演

(2) 受託文化事業（指定管理事業）

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するために、市民会館を市原市の文化の拠点と位置づけ、次の事業を実施しました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けましたが、代替事業の実施や動画配信を行い、できる限り多くの事業を実施しました。

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数 視聴回数	事業概要
1	劇団四季ファミリー ミュージカル	令和2年 5月17日 大ホール	中止	優れた舞台芸術の公演を実施することで、市民に高度な舞台技術と芸術鑑賞に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。
2	田原俊彦コンサート	8月22日 大ホール	延期	人気歌手の公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。
3	市原市文化祭 「三曲大会」 「合唱祭」 「工芸展」 「吟詠剣詩舞大会」 「古典舞踊大会」 「謡曲大会」	 9月27日 小ホール 9月27日 大ホール 10月8～11日 会議室棟 10月10日 小ホール 10月10日 大ホール 10月11日	中止	地域の伝統や文化を育み伝承していくため、市民が文化活動で鍛錬した成果発表の場を設けることで、市民文化活動の活性化を図ることを目的とし、市民と協働し元気なふるさとづくりを目指す参加・鑑賞型事業。 市民や団体が箏、三弦、尺八の3種の楽器を用いて、古曲、現代曲等の演奏を披露する文化公演。 市民や団体が女声、男声、混声、手話コーラスなどの合唱を披露する文化公演。 市民が製作した工芸作品を展示する文化事業。 市民や団体が吟詠に合わせ舞う剣舞と詩舞という古武道の格式と詩の心を表現する文化公演。 市民や団体が歌舞伎舞踊などの古典舞踊を披露する文化公演。 幅広い世代の市民や団体が能の詞章を謡う

	「バレエ公演」 「短歌大会」 「民謡秋まつり」 「民舞大会」 「郷土芸能大会」 「ハワイアンフラ祭り」 「歌謡祭」 「太鼓の輪」	小ホール 10月11日 大ホール 10月25日 会議室棟 10月25日 小ホール 10月25日 大ホール 11月8日 小ホール 11月8日 大ホール 11月29日 小ホール 11月29日 大ホール		<p>謡曲を中心に披露する文化公演。</p> <p>市民や団体がバレエの華麗な舞を披露する文化公演。</p> <p>市民が応募した短歌を発表する文化事業。</p> <p>市民や団体が豊作、祭などに彩られる秋を舞台上で唄、三味線等で表現する文化公演。</p> <p>市内の舞踊各流派の団体が、艶やかな着物姿で踊りを披露する文化公演。</p> <p>市内各地域で伝承される郷土芸能である「お囃子」や「ひょっとこ踊り」などを披露する文化公演。</p> <p>市民や団体がハワイアンフラの魅力を伝え、披露する文化公演。</p> <p>市民や団体が日頃から練習している歌謡を披露する文化公演。</p> <p>市民や団体が和太鼓の迫力と魅力、そして楽しさを披露する文化公演。</p>
	<p>※市民会館以外では、次の催物が予定されていましたが、中止となりました。</p> <p>「華道展」「茶会」「美術展」「将棋大会」「盆栽展」「菊花展」</p> <p>「凧揚げ大会、凧展・凧作り教室」「俳句大会」</p>			
4	松山千春コンサート	10月29日 大ホール	中止	<p>人気歌手の公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。</p> <p>※令和2年4月10日の延期公演 令和3年4月29日に公演</p>
5	市民の日記念 夢の架け橋コンサート	11月1日公開 ・五井中学校 1,563回 ・国分寺台西中学校 1,712回 ・ちはら台南中学校 1,598回		<p>市内の小中学校・高等学校吹奏楽部及び合唱部で、各種大会及び音楽コンクールなどに出場し各賞に輝いた学校にその成果を披露できる場を提供するとともに、市民がその演奏や合唱を鑑賞することで、音楽芸術文化の向上を目的とする参加・鑑賞型事業。</p> <p>今年度は、各種音楽コンクール等の中止が相</p>

		<p>・南総中学校 1,017回</p> <p>・ダイジェスト 544回</p>		<p>次ぎ、発表の場が失われていることから、日々全力で取り組んでいる生徒たちを応援することを目的に、演奏風景を撮影し、動画配信を実施した。</p>
6	<p>生涯学習支援</p> <p>「市原市小学校音楽発表会」</p> <p>「市原市中学校音楽発表会」</p> <p>「特連文化フェスティバル」</p>	<p>11月5日 6日 大ホール</p> <p>12月3日 大ホール</p>	<p>中止</p> <p>中止</p>	<p>市内の小・中学生が芸術文化活動の成果を発表する場を設け、音楽芸術の向上と地域社会の活性化を図ることを目的とする参加・鑑賞型事業。</p> <p>市内小中学校特別支援学級及び千葉県立市原特別支援学校の学生が日頃の学習や文化的活動を発表する場を設け、芸術文化に親しむことで地域コミュニティの交流と教育の向上並びに福祉の増進を図ることを目的とする参加・鑑賞型事業。</p>
7	One's one こんさーと	<p>11月8日 12月12日 大ホール</p>	<p>5組22名 5組20名</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止又は延期となった事業の代替事業。</p> <p>大ホールのステージで本番と同様に舞台・照明等をセットし、自由に練習できる場を設けることで、アマチュアの音楽活動を支援することを目的とした支援・参加型事業。</p>
8	市民会館探検ツアー	<p>11月14日・15日 大ホール及び小ホール</p> <p>14日 ①11組26名 ②13組29名</p> <p>15日 ①11組29名 ②10組28名</p>		<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止又は延期となった事業の代替事業。</p> <p>市民会館の裏側をより深く知ってもらい、舞台技術や舞台芸術への興味・関心を啓発するために実施する参加・体験型事業。</p>
9	村治佳織コンサート	<p>11月29日 小ホール</p>	223名	<p>音楽コンサートを実施することで、市民に音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。</p>
10	人権・男女共同参画フォーラム	<p>12月13日 小ホール</p>	中止	<p>市原市人権・男女共同参画フォーラム実行委員会と協働し、人権意識の高揚と男女をめぐる意識改革を推進するための講演会。</p>

11	伝統芸能 「歌舞伎の世界を見て みよう！」	令和3年 1月23日公開	2,502回	新型コロナウイルス感染拡大の影響により 中止又は延期となった事業の代替事業。 日本の伝統芸能である歌舞伎を鑑賞し、日本 古来の文化の普及・啓発を図ることを目的に 実施する鑑賞型事業。大ホールにて無観客で 撮影し、動画配信を行った。
12	池上彰講演会	1月30日 大ホール	中止	テレビでお馴染みの著名人による講演を実 施することで、市民に鑑賞機会を提供する鑑 賞型事業。
13	いちばら名人寄席 春風亭昇太 三遊亭白鳥	2月7日 大ホール	中止	日本の伝統話芸である落語を鑑賞する場を 提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機 会をつくとともに、豊かな文化と芸術の振 興を目的とした鑑賞型事業。
14	親子劇場	2月21日 大ホール	中止	テレビでお馴染みの子供に人気の着ぐるみ の公演を実施することで、これからの未来を 背負って立ついちばらの子供達に生涯学習 の機会を与えると同時に、情操教育の一助と なる鑑賞型事業。
15	県民芸術劇場 親子で楽しむ 室内管弦楽コンサート	2月27日 小ホール	中止	3歳からの子供を対象に室内楽コンサートを 開催し、聴くだけでなく実際に楽器演奏体 験をすることで、未来を担う子供達にクラシ ック音楽の素晴らしさを感じてもらうこと を目的とした体験・鑑賞型事業。 ※令和2年4月18日の延期公演
16	親子 de オペラ 鑑賞デビュー	3月6日 小ホール	中止	鑑賞方法を子供にもわかりやすく紹介し、市 民にオペラの魅力を伝える鑑賞型事業。 ※令和2年7月23日の延期公演
17	市民参加型事業 ICHIHARA ダンスパフォーマンス ステージ～絆～	3月28日 大ホール	188名	市民や団体と財団が協働して作り上げる熱 気あふれるステージを披露する市民参加型 事業。
18	お笑いライブ	3月31日 大ホール	中止	幅広い年齢層に人気のある有名お笑い芸人 の公演を実施する鑑賞型事業。

2 施設管理運営事業

(1) 施設管理及び施設貸出

①ホール・会議室等の貸出業務

施設貸出業務は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による施設の利用停止期間や、利用人数制限により、利用件数及び利用者数ともに大幅に減少しました。

ア. 利用件数

(単位：件)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和元年度	142	157	1,268	97	1,664
令和2年度	59	79	761	0	899
前年度対比	41.5%	50.3%	60.0%	0.0%	54.0%

イ. 利用者数

(単位：人)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和元年度	85,017	31,537	39,958	5,153	161,665
令和2年度	14,608	9,923	15,498	0	40,029
前年度対比	17.2%	31.5%	38.8%	0.0%	24.8%

②保守点検・管理業務委託

利用者の安全、安心を最優先に考え、設備機器等の保全を図るため、下記のとおり保守点検等を委託しました。また、修繕が必要な箇所については、優先順位を付けて限られた修繕予算を有効に活用しました。

番号	委託業務名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託
3	昇降機保守業務委託
4	消防設備保守業務委託
5	ホール舞台保守業務委託
6	ホール照明保守業務委託
7	放送装置保守業務委託
8	ピアノ保守業務委託
9	電話交換機設備保守業務委託
10	一般廃棄物処理業務委託

11	産業廃棄物処理業務委託
12	ストレージタンク性能検査に伴う受検準備整備委託
13	エネルギー施設蒸気ボイラ点検業務委託
14	樹木伐採及び枝下ろし業務委託

II 収益目的事業

1 宴会室における飲食提供事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の飲食提供事業は休止いたしました。

①利用件数 (単位：件)

区分	パーティー・会議食等	(うちパーティー)
令和元年度	134	96
令和2年度	0	0
前年度対比	0.0%	0.0%

②利用人数 (単位：人)

区分	パーティー・会議食等	(うちパーティー)
令和元年度	7,084	4,979
令和2年度	0	0
前年度対比	0.0%	0.0%

2 その他公益目的事業の推進に資する事業

(1) チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施しました。

(2) 施設利用者の利便性向上のための事業

市原市市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板、飾花、ピアノ調律等の利用者サービス事業を実施しました。

III その他の事業

施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理を行う事業を実施しました。

IV その他

1 理事会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第1回	2年4月1日	第1号	理事長（代表理事）の選定について	原案可決
		第2号	公益財団法人市原市文化振興財団就業規則の一部改正について	原案可決
第2回	5月22日	第3号	2019 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告について	原案承認
		第4号	2019 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支決算について	原案承認
		第5号	令和2 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業計画の変更について	原案承認
		第6号	令和2 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団補正予算（第1号）について	原案承認
		第7号	令和2 事業年度第1回評議員会の開催について	原案可決
第3回	9月3日	第8号	市原市市民会館指定管理申請について	原案可決
		第9号	令和2 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業計画の変更について	原案承認
		第10号	令和2 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団補正予算（第2号）について	原案承認
第4回	12月1日	第11号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程の一部改正について	原案可決
		第12号	公益財団法人市原市文化振興財団事業年度雇用職員給与規程の一部改正について	原案可決
第5回	3年3月10日	第13号	令和3 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業計画について	原案承認
		第14号	令和3 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算について	原案承認
		第15号	公益財団法人市原市文化振興財団諸規程の一部改正について	原案可決
		第16号	役員賠償責任保険の加入について	原案可決

※第1回、第2回、第4回及び第5回は決議の省略による。

2 評議員会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第1回	2年5月28日	第1号	2019事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告について	原案承認
		第2号	2019事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支決算について	原案承認
		第3号	評議員の選任について	原案可決
		第4号	理事の選任について	原案可決
		第5号	監事の選任について	原案可決

※第1回は決議の省略による。

3 職員に関する事項

①研修会・講習会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、研修会や講習会の中止が相次ぎましたが、オンラインで開催される研修会を積極的に受講させました。特に、全国公立文化施設協会が実施する全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会は職員全員が受講し、コロナ禍における事業企画や施設運営、また、今後の文化振興や施設管理について知識を習得しました。

②職員数の推移

区分	平成30年度末(人)		令和元年度末(人)		令和2年度末(人)	
	一般職	臨時職等	一般職	臨時職等	一般職	臨時職等
7	1		1		1	
6	1		1		1	
5						
4	3		3		3	
3	1		1		1	
2			2		3	
1	3		1		2	
臨時職等		5		4		2
計	9	5	9	4	11	2

貸借対照表
令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	157,332,357	164,638,058	△ 7,305,701
未収金	16,137,676	15,847,368	290,308
前払金	754,562	658,796	95,766
立替金	119,062	123,262	△ 4,200
繰延税金資産	3,917,300	3,522,850	394,450
流動資産合計	178,260,957	184,790,334	△ 6,529,377
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	74,478,483	68,613,380	5,865,103
自主文化事業安定継続実施準備資金	25,013,000	40,097,000	△ 15,084,000
特定資産合計	99,491,483	108,710,380	△ 9,218,897
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2,023,572	2,023,572	0
什器備品	19,595,200	19,595,200	0
減価償却累計額	△ 18,798,699	△ 17,960,119	△ 838,580
電話加入権	101,300	101,300	0
ソフトウェア	281,516	358,292	△ 76,776
受入保証金定期	0	900,000	△ 900,000
その他固定資産合計	3,202,889	5,018,245	△ 1,815,356
固定資産合計	105,694,372	116,728,625	△ 11,034,253
資産合計	283,955,329	301,518,959	△ 17,563,630
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	50,600	80,200	△ 29,600
未払金	8,241,984	7,015,958	1,226,026
前受金	1,922,200	18,117,200	△ 16,195,000
預り金	9,524,889	8,711,375	813,514
未払法人税等	486,800	1,048,000	△ 561,200
未払消費税等	3,906,400	1,178,700	2,727,700
流動負債合計	24,132,873	36,151,433	△ 12,018,560
2. 固定負債			
退職給付引当金	74,478,483	68,613,380	5,865,103
受入保証金	0	900,000	△ 900,000
固定負債合計	74,478,483	69,513,380	4,965,103
負債合計	98,611,356	105,664,813	△ 7,053,457
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	25,013,000	40,097,000	△ 15,084,000
正味財産合計	185,343,973	195,854,146	△ 10,510,173
負債及び正味財産合計	283,955,329	301,518,959	△ 17,563,630

正味財産増減計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科	目	当年度	前年度	増減
I	一般正味財産増減の部			
	1. 経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	300	300	0
	基本財産受取利息	300	300	0
	特定資産運用益	5,450	6,446	△ 996
	特定資産受取利息	5,450	6,446	△ 996
	事業収益	169,816,485	203,369,347	△ 33,552,862
	施設管理事業収益	120,460,352	118,938,021	1,522,331
	受託文化事業収益	8,617,973	17,250,474	△ 8,632,501
	自主文化事業収益	0	2,394,563	△ 2,394,563
	施設貸出事業収益	40,153,454	39,646,004	507,450
	飲食提供事業収益	0	23,231,609	△ 23,231,609
	受託販売事業収益	184,278	626,705	△ 442,427
	利便性向上事業収益	400,428	1,281,971	△ 881,543
	雑収益	78	110	△ 32
	雑収益	34	12	22
	受取利息	44	98	△ 54
	経常収益計	169,822,313	203,376,203	△ 33,553,890
	(2) 経常費用			
	事業費	178,731,102	221,922,384	△ 43,191,282
	出演料	3,202,728	28,947,581	△ 25,744,853
	仕入	265,000	1,006,007	△ 741,007
	給料手当	70,622,283	71,351,051	△ 728,768
	役員報酬	9,000,888	9,014,664	△ 13,776
	退職給付費用	5,806,452	4,184,959	1,621,493
	法定福利費	12,789,165	12,448,337	340,828
	福利厚生費	528,297	455,003	73,294
	旅費交通費	2,884	44,684	△ 41,800
	消耗品費	2,705,794	4,215,467	△ 1,509,673
	印刷製本費	0	0	0
	図書購入費	36,672	42,491	△ 5,819
	委託料	52,803,440	69,904,230	△ 17,100,790
	賃借料	2,947,131	3,612,131	△ 665,000
	燃料費	23,550	64,375	△ 40,825
	広告宣伝費	6,212,630	6,203,629	9,001
	通信運搬費	2,005,454	2,158,527	△ 153,073
	租税公課	227,200	287,200	△ 60,000
	修繕費	3,567,663	3,693,778	△ 126,115

科 目	当年度	前年度	増減
支払手数料	3,398,033	1,597,798	1,800,235
負担金	182,700	182,700	0
賃金	0	233,326	△ 233,326
経理費	545,000	545,000	0
保険料	351,850	310,070	41,780
雑支出	590,932	436,372	154,560
減価償却費	915,356	983,004	△ 67,648
管理費	1,509,034	1,502,807	6,227
給料手当	713,343	720,705	△ 7,362
役員報酬	342,906	244,050	98,856
退職給付費用	58,651	42,272	16,379
法定福利費	129,178	125,733	3,445
福利厚生費	5,336	4,596	740
旅費交通費	2,548	39,753	△ 37,205
修繕費	51,320	77,493	△ 26,173
印刷製本費	129,493	129,493	0
交際費	1,431	0	1,431
消耗品費	3,646	1,156	2,490
広告宣伝費	0	0	0
研修費	0	5,556	△ 5,556
保険料	70,000	70,000	0
雑支出	1,182	42,000	△ 40,818
経常費用計	180,240,136	223,425,191	△ 43,185,055
当期経常増減額	△ 10,417,823	△ 20,048,988	9,631,165
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	1	△ 1
雑支出	0	0	0
固定資産除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
税引前当期一般正味財産増減額	△ 10,417,823	△ 20,048,989	9,631,166
法人税、住民税及び事業税	486,800	1,048,000	△ 561,200
法人税等調整額	△ 394,450	△ 284,987	△ 109,463
当期一般正味財産増減額	△ 10,510,173	△ 20,812,002	10,301,829
当期一般正味財産期首残高	192,854,146	213,666,148	△ 20,812,002
当期一般正味財産期末残高	182,343,973	192,854,146	△ 10,510,173
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	185,343,973	195,854,146	△ 10,510,173

正味財産増減計算書内訳表

令和2年 4月 1日から令和 3年 3月 3 1日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	合計
	公 1	小計	収 1	収 2	他 1	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	300	300	0	0	0	0	0	0	300
基本財産受取利息	300	300					0		300
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	5,450	5,450
特定資産受取利息		0					0	5,450	5,450
事業収益	129,078,325	129,078,325	0	584,706	40,153,454	0	40,738,160	0	169,816,485
施設管理事業収益	120,460,352	120,460,352					0		120,460,352
受託文化事業収益	8,617,973	8,617,973					0		8,617,973
自主文化事業収益	0	0					0		0
施設貸出事業収益		0			40,153,454		40,153,454		40,153,454
飲食提供事業収益		0	0				0		0
受託販売事業等収益		0		184,278			184,278		184,278
利便性向上事業収益		0		400,428			400,428		400,428
雑収益	0	0	36	0	0	0	36	42	78
雑収益		0					0	34	34
受取利息		0	36				36	8	44
経常収益計	129,078,625	129,078,625	36	584,706	40,153,454	0	40,738,196	5,492	169,822,313
(2) 経常費用									
事業費	140,574,472	140,574,472	2,097,933	1,353,741	34,704,956	0	38,156,630		178,731,102
出演料	3,202,728	3,202,728					0		3,202,728
仕入		0	0	265,000			265,000		265,000
給料手当	54,928,472	54,928,472	1,426,694	713,343	13,553,774		15,693,811		70,622,283
役員報酬	7,000,710	7,000,710	181,826	90,906	1,727,446		2,000,178		9,000,888
退職給付費用	4,516,130	4,516,130	117,302	58,651	1,114,369		1,290,322		5,806,452
法定福利費	9,947,146	9,947,146	258,362	129,178	2,454,479		2,842,019		12,789,165
福利厚生費	410,897	410,897	10,673	5,336	101,391		117,400		528,297

旅費交通費	1,428	1,428	1,456				1,456		2,884
消耗品費	2,147,334	2,147,334	0		558,460		558,460		2,705,794
印刷製本費	0	0	0		0		0		0
図書購入費	27,504	27,504			9,168		9,168		36,672
委託料	39,641,600	39,641,600	0	68,000	13,093,840		13,161,840		52,803,440
賃借料	2,647,184	2,647,184	34,000	15,387	250,560		299,947		2,947,131
燃料費	17,662	17,662			5,888		5,888		23,550
広告宣伝費	6,167,630	6,167,630	45,000		0		45,000		6,212,630
通信運搬費	1,640,765	1,640,765	0		364,689		364,689		2,005,454
租税公課	182,850	182,850	600	600	43,150		44,350		227,200
修繕費	2,675,747	2,675,747			891,916		891,916		3,567,663
支払手数料	3,145,523	3,145,523			252,510		252,510		3,398,033
負担金	129,780	129,780	5,670	1,890	45,360		52,920		182,700
経理費	392,400	392,400	16,350	5,450	130,800		152,600		545,000
保険料	263,888	263,888			87,962		87,962		351,850
雑支出	590,932	590,932					0		590,932
減価償却費	896,162	896,162			19,194		19,194		915,356
管理費								1,509,034	1,509,034
給料手当								713,343	713,343
役員報酬								342,906	342,906
退職給付費用								58,651	58,651
法定福利費								129,178	129,178
福利厚生費								5,336	5,336
旅費交通費								2,548	2,548
修繕費								51,320	51,320
印刷製本費								129,493	129,493
交際費								1,431	1,431
消耗品費								3,646	3,646
広告宣伝費								0	0
研修費								0	0
保険料								70,000	70,000
雑支出								1,182	1,182

経常費用計	140,574,472	140,574,472	2,097,933	1,353,741	34,704,956	0	38,156,630	1,509,034	180,240,136
当期経常増減額	△ 11,495,847	△ 11,495,847	△ 2,097,897	△ 769,035	5,448,498	0	2,581,566	△ 1,503,542	△ 10,417,823
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産除却損	0	0					0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,578,968	2,578,968				△ 2,578,968	△ 2,578,968		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,916,879	△ 8,916,879	△ 2,097,897	△ 769,035	5,448,498	△ 2,578,968	2,598	△ 1,503,542	△ 10,417,823
法人税、住民税及び事業税		0				486,800	486,800		486,800
法人税等調整額		0				△ 394,450	△ 394,450		△ 394,450
当期一般正味財産増減額	△ 8,916,879	△ 8,916,879	△ 2,097,897	△ 769,035	5,448,498	△ 2,671,318	△ 89,752	△ 1,503,542	△ 10,510,173
一般正味財産期首残高	169,183,266	169,183,266	42,491,615	13,331,728	61,896,829	△ 66,460,688	51,259,484	△ 27,588,604	192,854,146
一般正味財産期末残高	160,266,387	160,266,387	40,393,718	12,562,693	67,345,327	△ 69,132,006	51,169,732	△ 29,092,146	182,343,973
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	163,266,387	163,266,387	40,393,718	12,562,693	67,345,327	△ 69,132,006	51,169,732	△ 29,092,146	185,343,973

※事業区分について

公益目的事業（公1）・・・芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業

収益事業等（収1）・・・宴会室における飲食提供事業

収益事業等（収2）・・・その他公益目的事業の推進に資する事業（チケット受託販売事業、施設利用者の利便性向上のための事業）

収益事業等（他1）・・・市原市から指定された施設の管理運営事業（公益目的以外の施設貸出事業）

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

ソフトウェア 定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 自己都合退職による期末退職給与の要支給額100%に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理 税抜き方式によっている。

(4) 税効果会計の適用 法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な正味財産増減額を計上するため税効果会計を適用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	68,613,380	5,865,103	0	74,478,483
自主文化事業安定継続実施準備資金	40,097,000	0	15,084,000	25,013,000
小 計	108,710,380	5,865,103	15,084,000	99,491,483
合 計	111,710,380	5,865,103	15,084,000	102,491,483

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債の対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	—
小 計	3,000,000	3,000,000	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	74,478,483	0	0	74,478,483
自主文化事業安定継続実施準備資金	25,013,000	0	25,013,000	0
小 計	99,491,483	0	25,013,000	74,478,483
合 計	102,491,483	3,000,000	25,013,000	74,478,483

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法による減価償却を行っているもの）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア（公益法人会計DX）	383,884	102,368	281,516
ソフトウェア（給与DX）	201,883	201,883	0
ソフトウェア（固定資産DX）	152,533	152,533	0
ソフトウェア（チケット販売システム）	4,600,000	4,600,000	0
ソフトウェア（調定用ソフト）	936,000	936,000	0
合 計	6,274,300	5,992,784	281,516

5 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	68,613,380	5,865,103	0	0	74,478,483

6 税効果会計関係

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

一時差異名	前期末残高	当期末残高	増減額
未払事業税	73,204	29,986	△ 43,218
退職給与引当金	3,449,646	3,887,314	437,668
合 計	3,522,850	3,917,300	394,450

7 関連当事者との取引

該当事項はありません。

8 重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記 2、3 に記載をしているので、内容の記載を省略している。

2 引当金の明細

財務諸表に対する注記 5 に記載をしているので、内容の記載を省略している。

財 産 目 録
令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	手元保管	運転資金、チケット払戻資金	1,313,340
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	運転資金、指定管理料	50,744,839
"	千葉銀行 市原市役所出張所	運転資金、自主財源	103,451,238
"	千葉興業銀行 五井支店	"	940,819
"	京葉銀行 国分寺台支店	"	459,959
"	千葉信用金庫 五井支店	"	156,766
"	館山信用金庫 若宮支店	"	133,241
"	みずほ銀行 五井支店	"	1,401
"	市原市農業協同組合 本店	"	130,754
未収金		3月分指定管理料他	16,137,676
前払金		令和3年度文化事業費	754,562
立替金		労働保険料立替金	119,062
繰延税金資産		税効果会計分	3,917,300
流動資産合計			178,260,957
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	みずほ銀行五井支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	3,000,000
基本財産合計			3,000,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	職員の退職手当支払準備	10,092,334
定期預金	みずほ銀行 五井支店	"	7,000,000
	千葉銀行 市原市役所出張所	"	10,000,000
	千葉興業銀行 五井支店	"	10,000,000
	京葉銀行 国分寺台支店	"	10,000,000
	千葉信用金庫 五井支店	"	7,386,149
	館山信用金庫 若宮支店	"	10,000,000
	市原市農業協同組合 本店	"	10,000,000
			74,478,483
自主文化事業安定継続実施準備資金			
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	自主文化事業支払準備	25,013,000
特定資産合計			99,491,483
(3) その他固定資産			
車両運搬具		公用車	2,023,572
什器備品		チケット予約システム他	19,595,200
減価償却累計額			△ 18,798,699
電話加入権			101,300
ソフトウェア		会計システム他	281,516
その他固定資産合計			3,202,889
固定資産合計			105,694,372
資産合計			283,955,329
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金		3月分仕入	50,600
未払金		委託料他	8,241,984
前受金		令和3年度文化事業チケット代	1,922,200
預り金		払戻チケット、施設使用料預り金	9,524,889
未払消費税等			3,906,400
未払法人税等			486,800
流動負債合計			24,132,873
2. 固定負債			
退職給付引当金		職員の退職手当支払準備	74,478,483
固定負債合計			74,478,483
負債合計			98,611,356
正味財産			185,343,973